

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2024年10-12月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は268社から回答があった。景況判断DIは▲8となり、前期調査から11ポイント改善した。来期の見通しは▲16となり、8ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点の回答割合は、「従業員の不足」が最も高く、次いで「修理、修繕費等の増加」、「人件費の増加」の順となっている。

以下、その他業況感DIの内訳

前期(2024年7-9月)に対して、

- ・売上高DIは13で、25ポイント改善
- ・処理量DIは12で、27ポイント改善
- ・営業利益DIは2で、20ポイント改善
- ・資金繰りDIは0で、2ポイント改善
- ・借入難易度DIは10で、1ポイント悪化
- ・設備投資DIは9で、3ポイント改善
- ・従業員数DIは2で、1ポイント改善
- ・契約単価DIは、収集運搬が9で、同水準
処分が9で、4ポイント改善

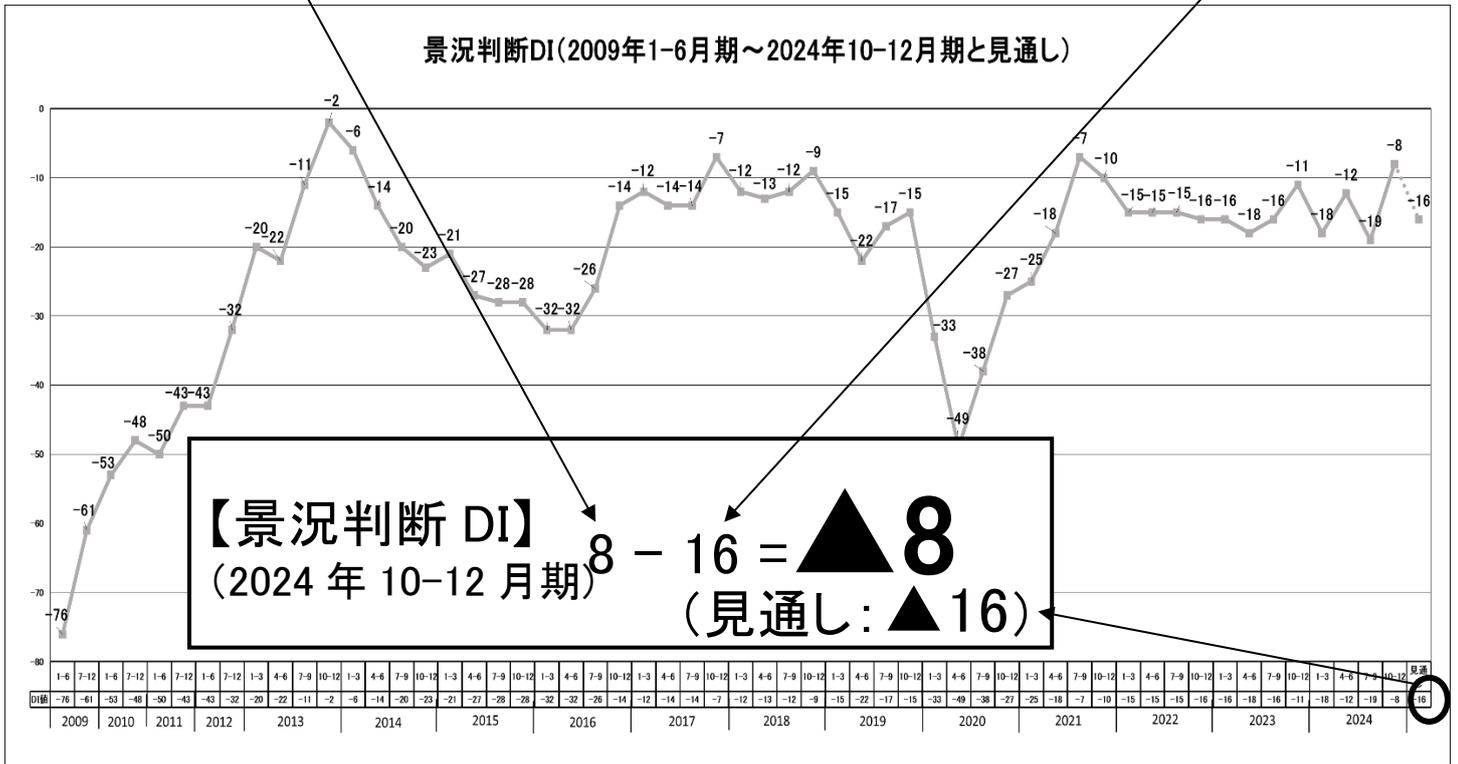
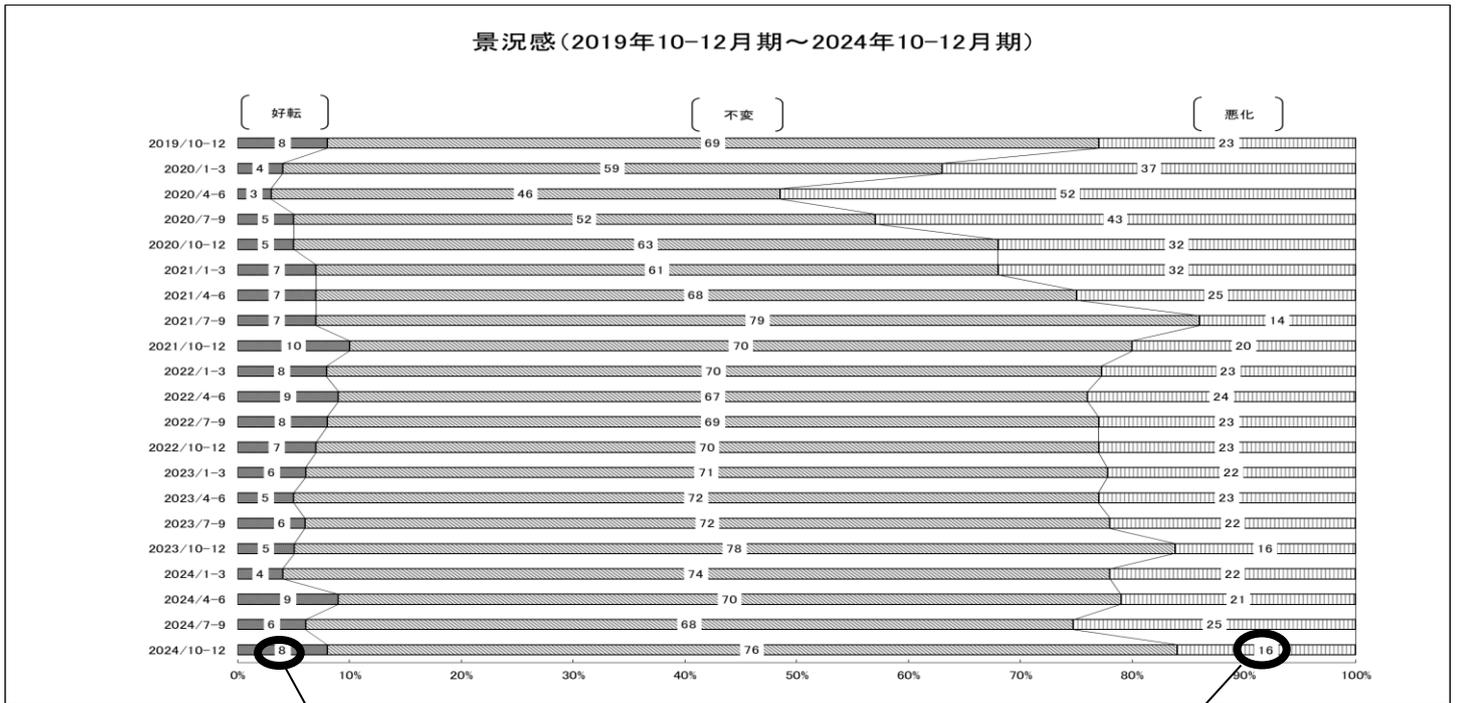
- 売上高の動向については、前年同期比で4.2%減となった。
- 処理量の動向については、前年同期比で17.7%減となった。
- 経常利益率については、前年同期比で1.8%増となった。

※DIとはディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で「好転」「増加」したなどとする企業割合から「悪化」「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

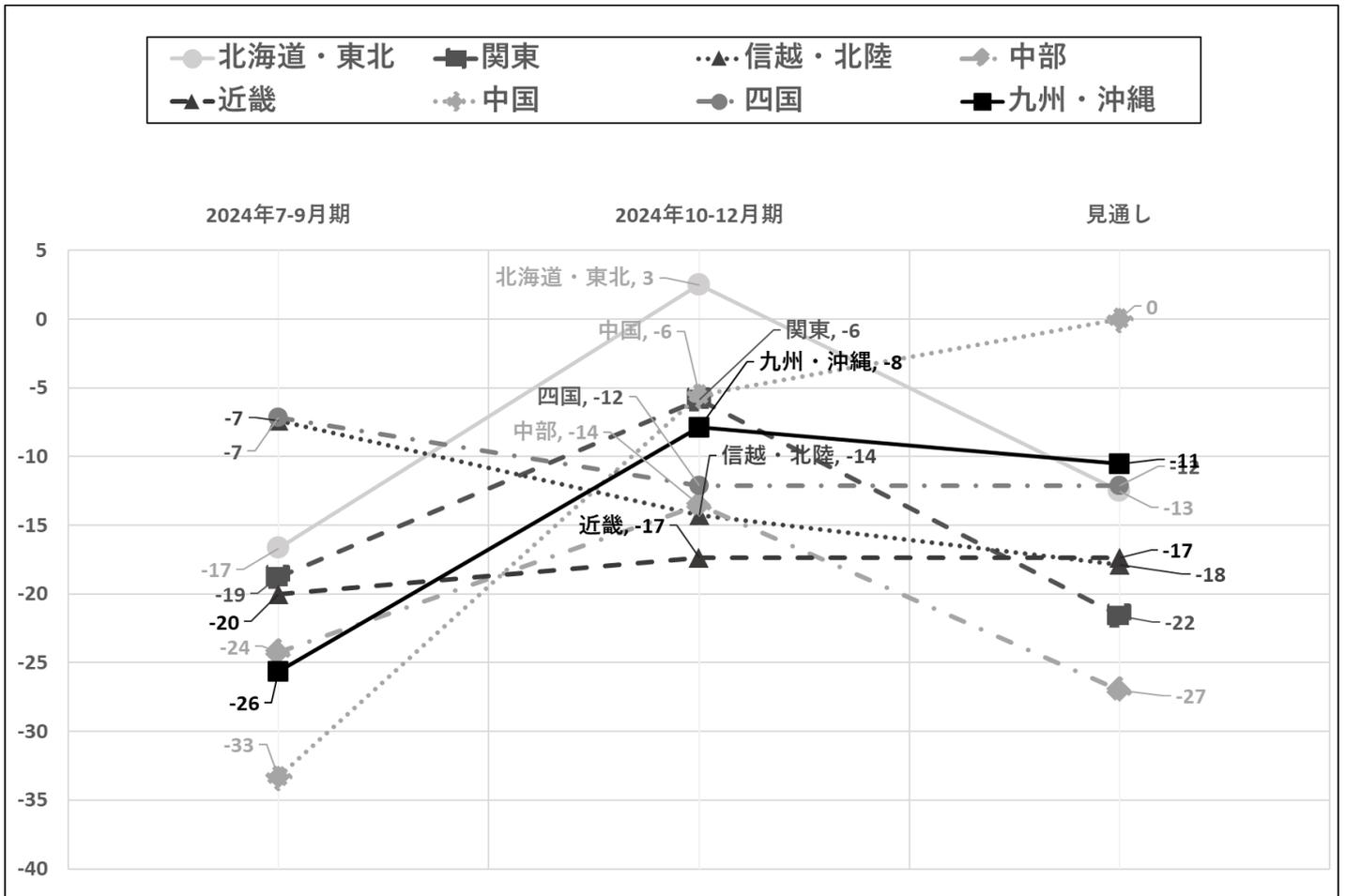
1. 景況感 DI(「好転」・「増加」-「悪化」・「減少」の企業割合)

(1) 景況判断 DI

- 景況判断 DI は▲8 となり、前期から 11 ポイント改善した。
見通しは▲16 となり、8 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 地域別の景況判断 DI をみると、「信越・北陸」、「四国」が悪化した。(3 ページ参照)
- 地域別の景況判断 DI 見通しをみると、「中国」のみが改善する見込みとなっている。(3 ページ参照)



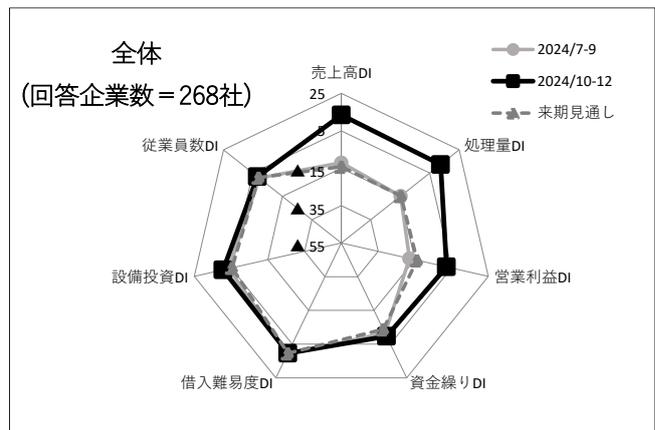
地域別景況判断 DI



	全体平均	北海道・東北	関東	信越・北陸	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
2024年7-9月期	-19	-17	-19	-7	-24	-20	-33	-7	-26
2024年10-12月期	-8	3	-6	-14	-14	-17	-6	-12	-8
見通し	-16	-13	-22	-18	-27	-17	0	-12	-11

(2) 売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI

- 前期から借入難易度 DI のみが悪化した。
- 見通しは、改善する予定の DI がなかった。

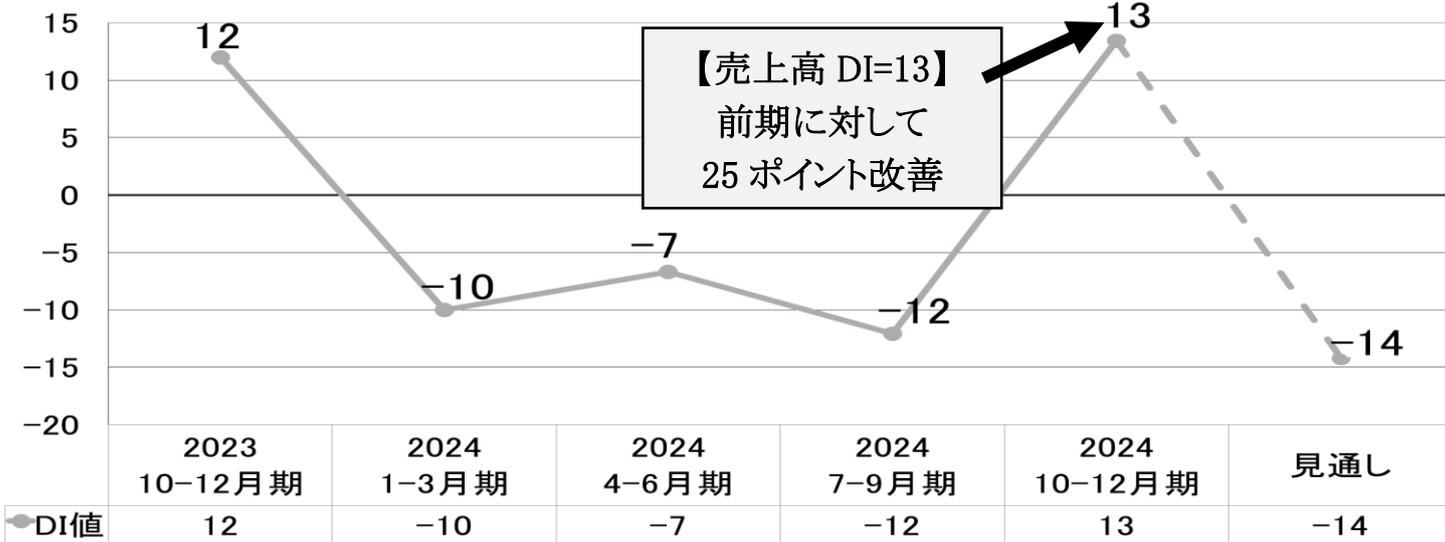


以下詳細(5~7ページ参照)

- ・売上高 DI は 13 となり、前期と比べて 25 ポイント改善した。
見通しは▲14 となり、27 ポイント悪化する見込み。
- ・処理量 DI は 12 となり、前期と比べて 27 ポイント改善した。
見通しは▲15 となり、27 ポイント悪化する見込み。
- ・営業利益 DI は 2 となり、前期と比べて 20 ポイント改善した。
見通しは▲14 となり、16 ポイント悪化する見込み。
- ・資金繰り DI は 0 となり、前期と比べて 2 ポイント改善した。
見通しは▲4 となり、4 ポイント悪化する見込み。
- ・借入難易度 DI は 10 となり、前期と比べて 1 ポイント悪化した。
見通しは 10 となり、同水準となる見込み。
- ・設備投資 DI は 9 となり、前期と比べて 3 ポイント改善した。
見通しは 4 となり、5 ポイント悪化する見込み。
- ・従業員数 DI は 2 となり、前期と比べて 1 ポイント改善した。
見通しは 1 となり、1 ポイント悪化する見込み。

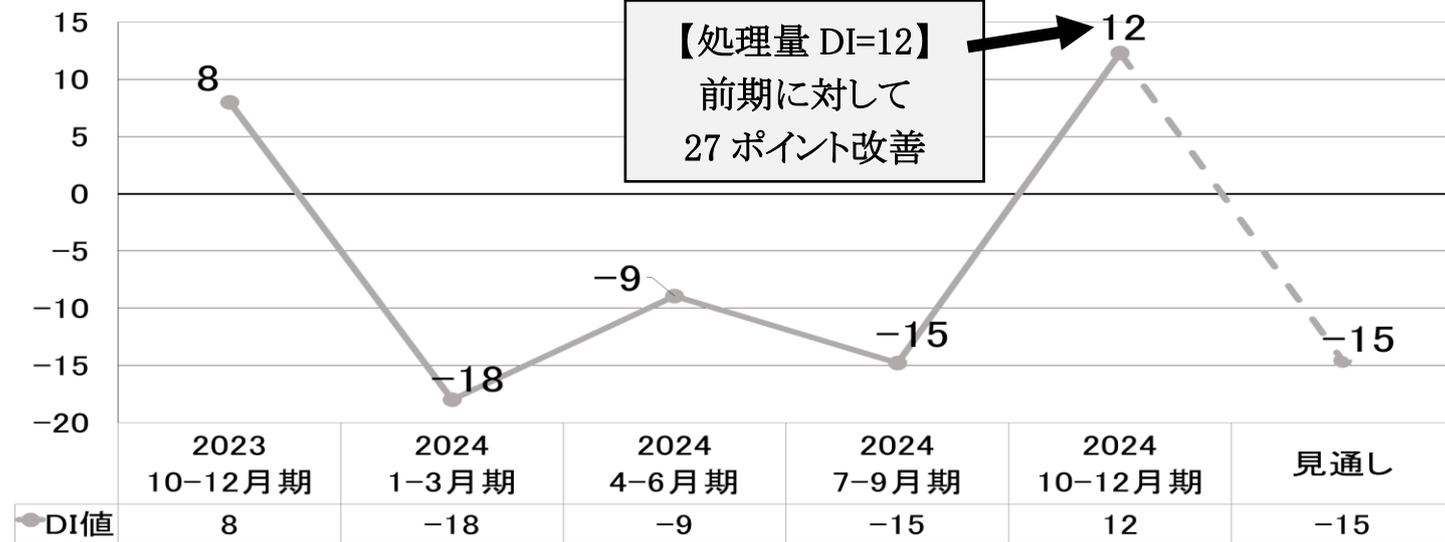
売上高DI

(2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



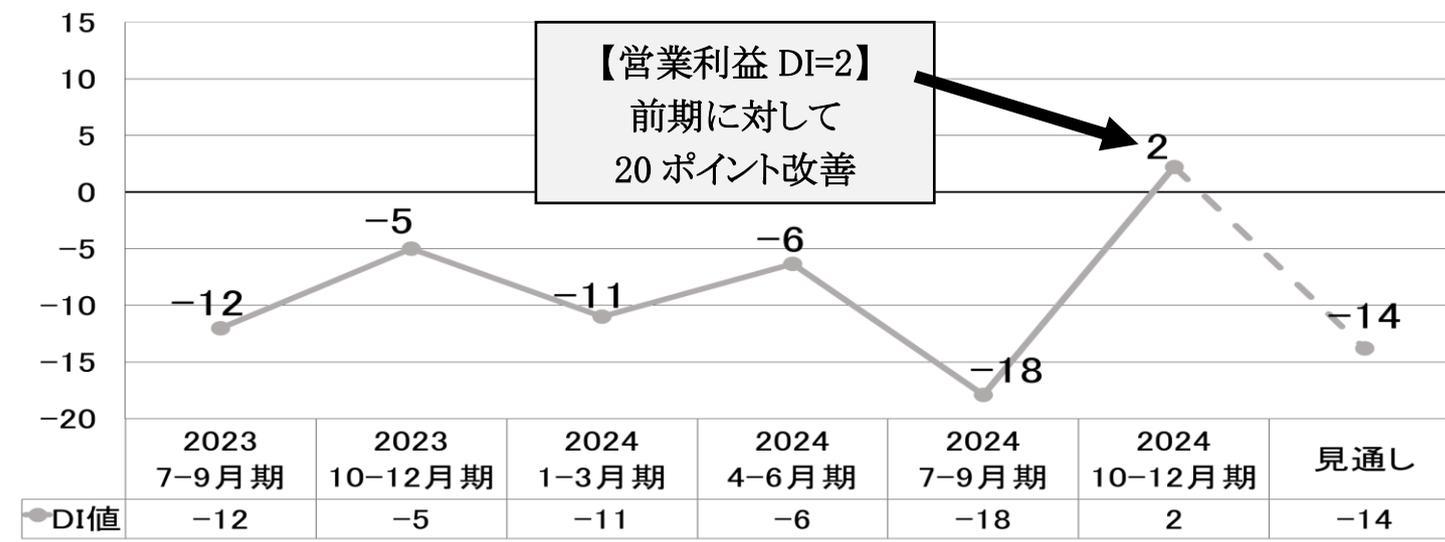
処理量DI

(2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



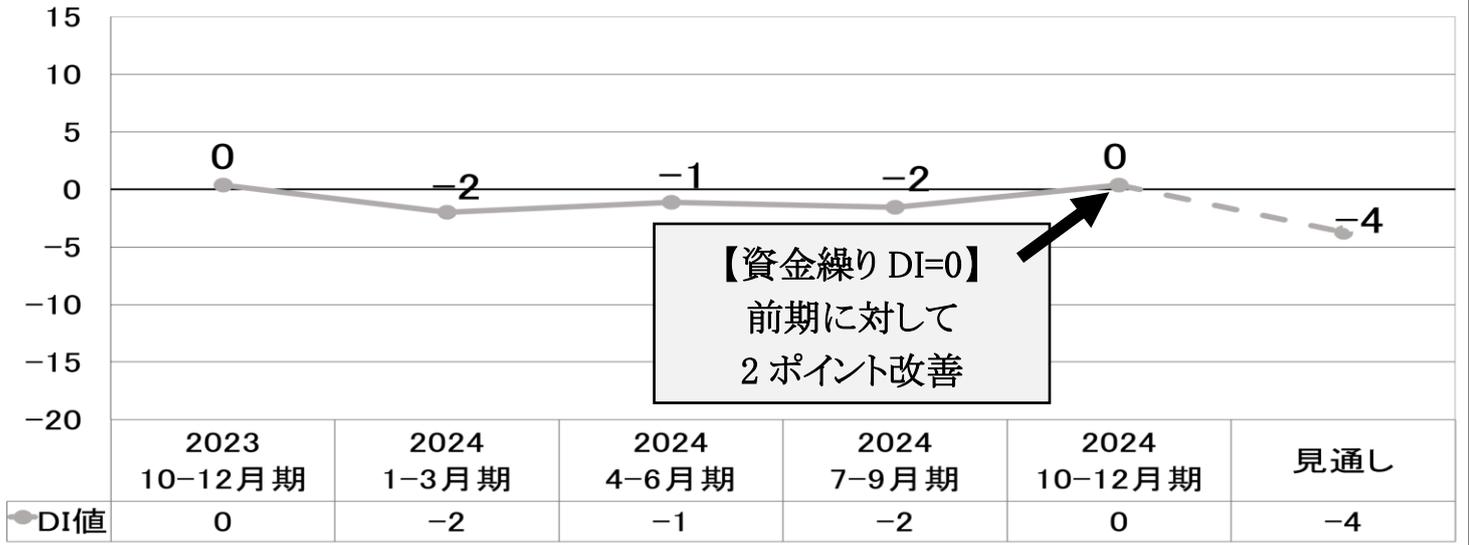
営業利益DI

(2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



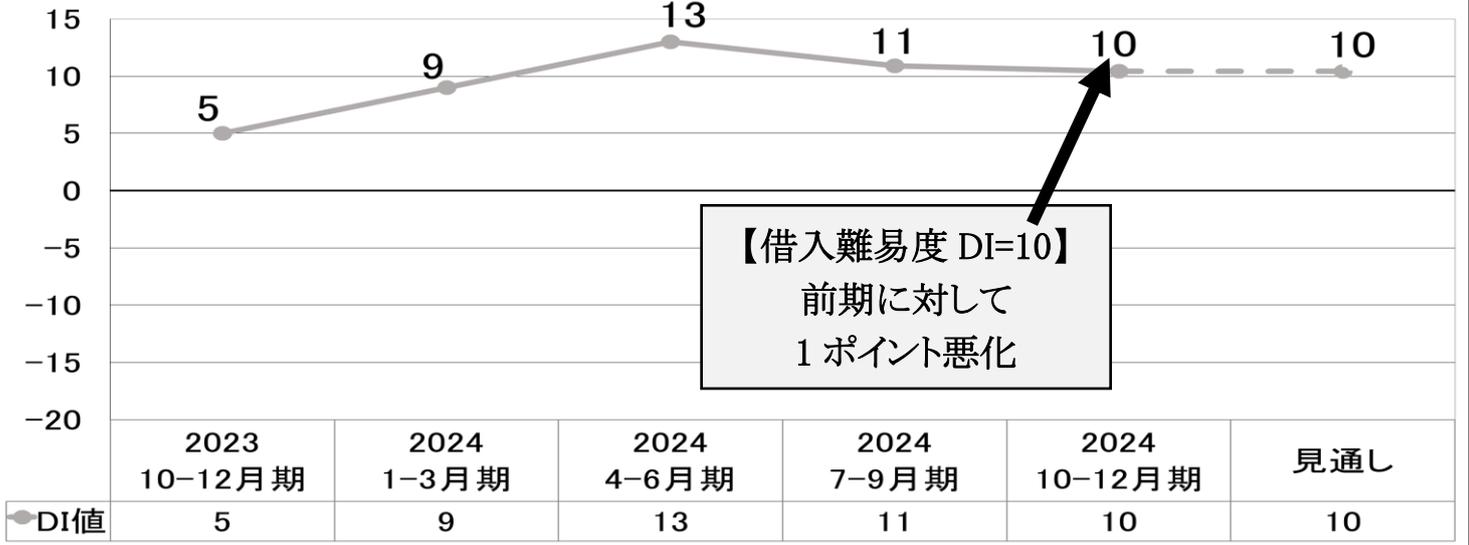
資金繰りDI

(2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



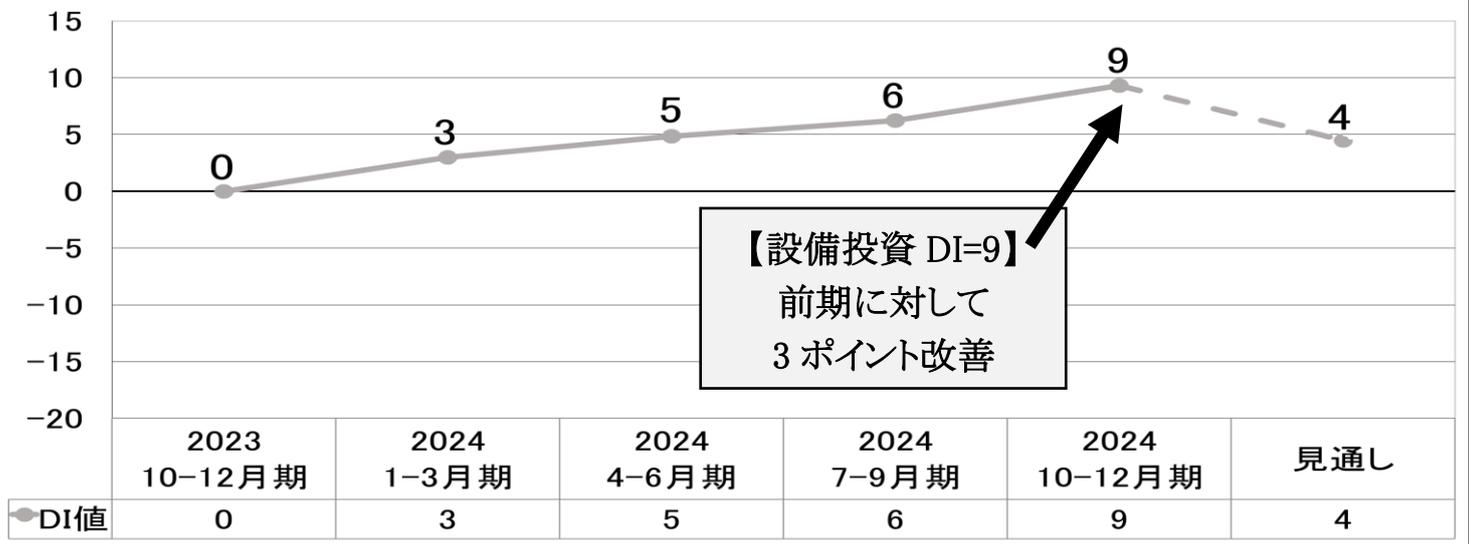
借入難易度DI

(2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)

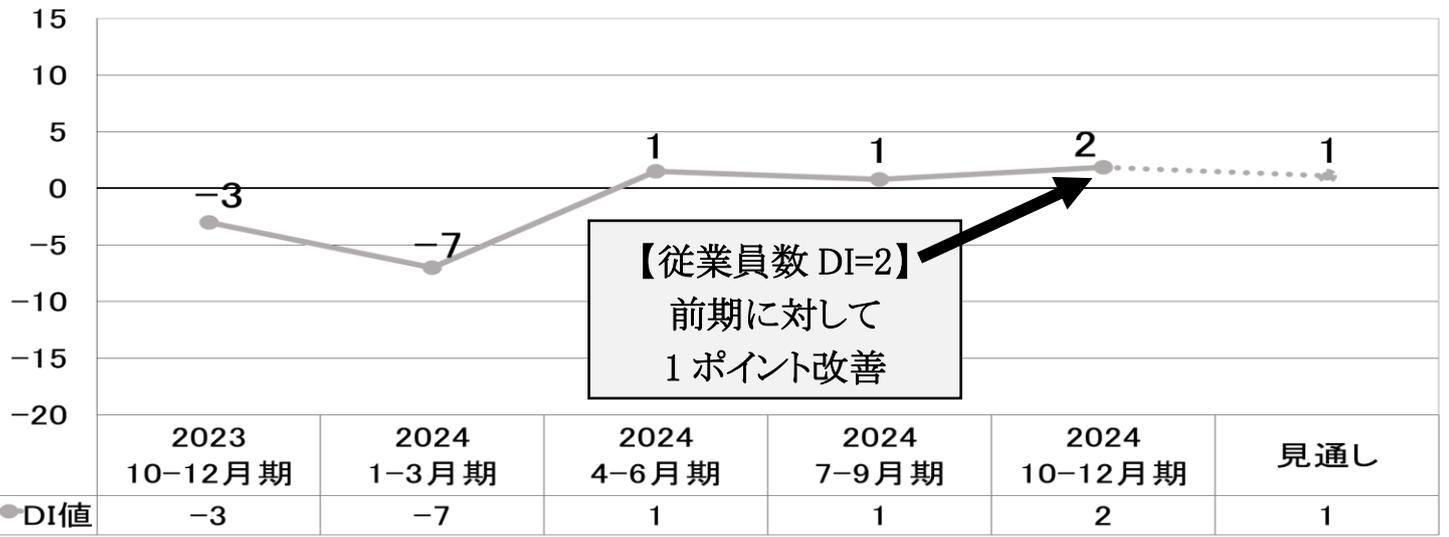


設備投資DI

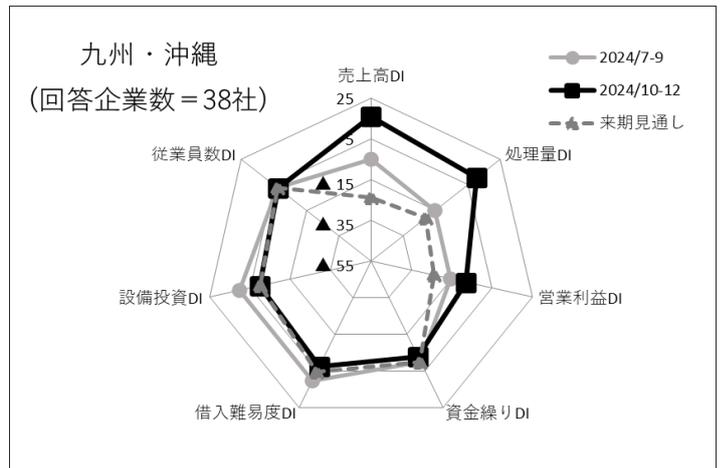
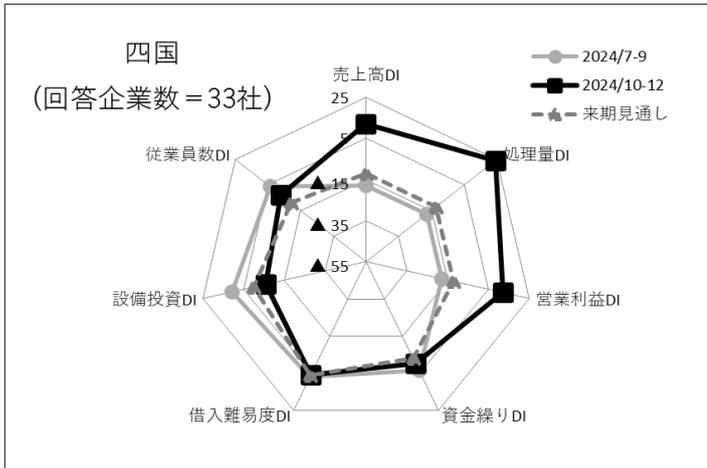
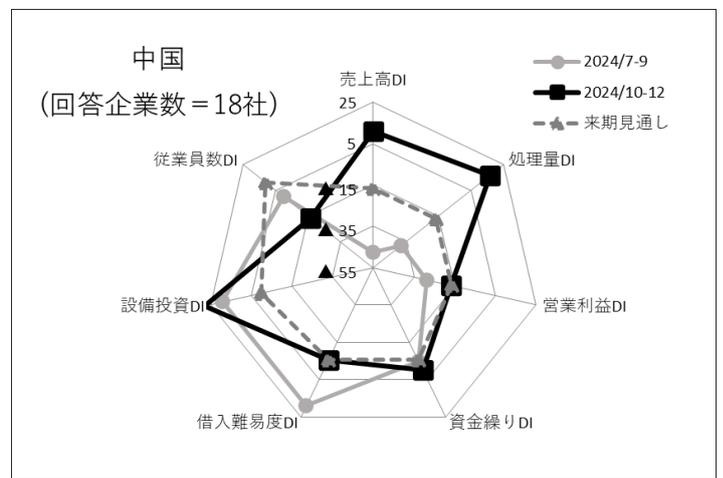
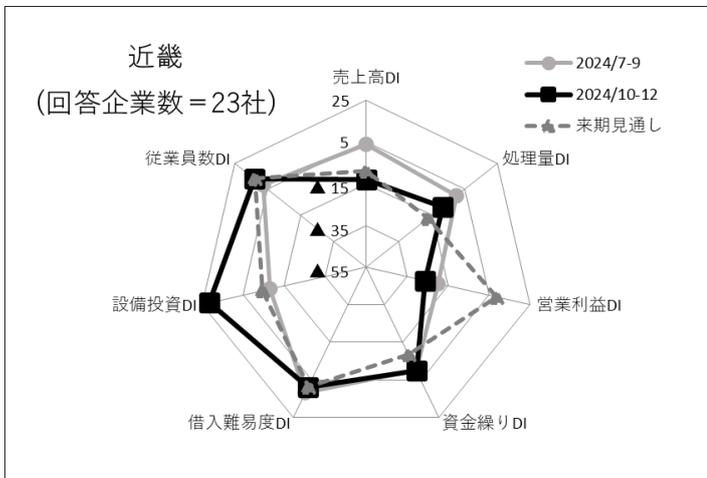
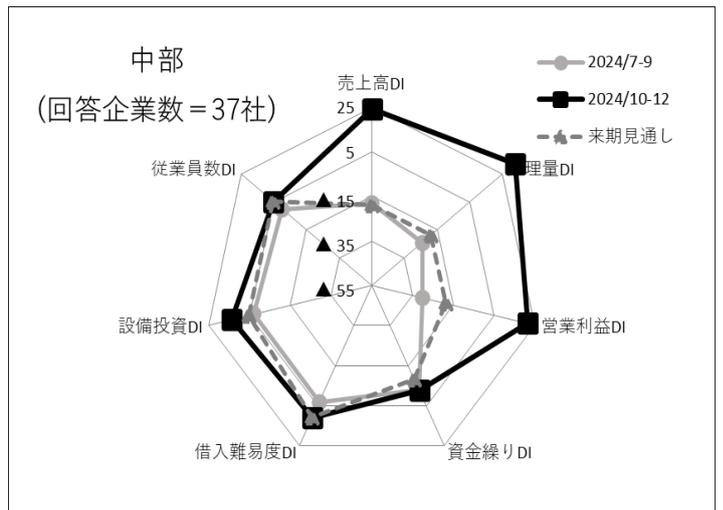
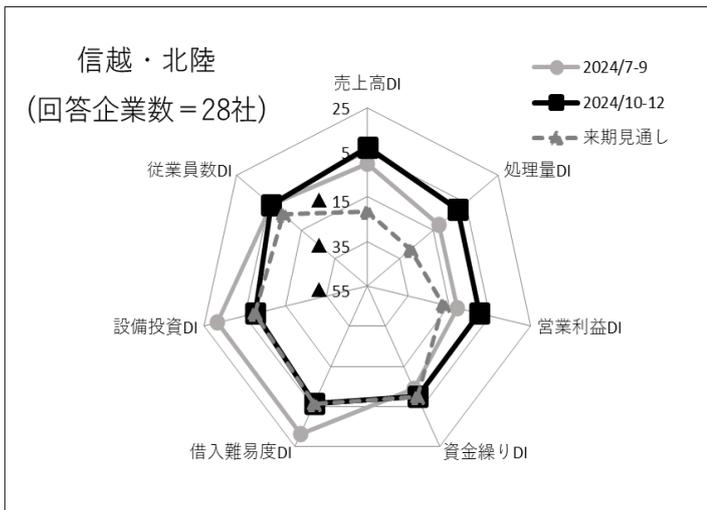
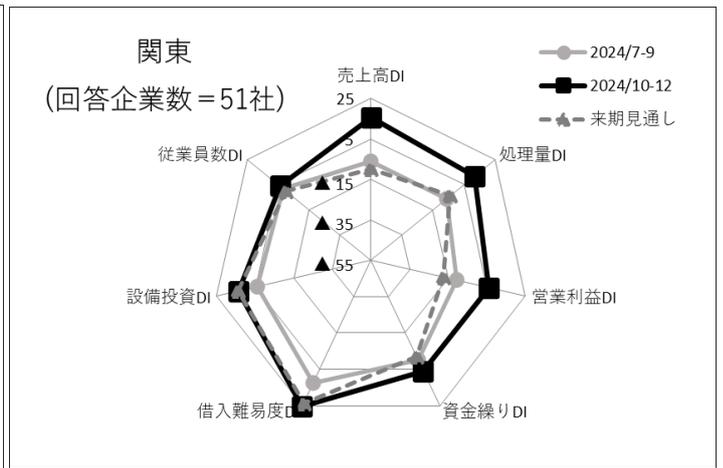
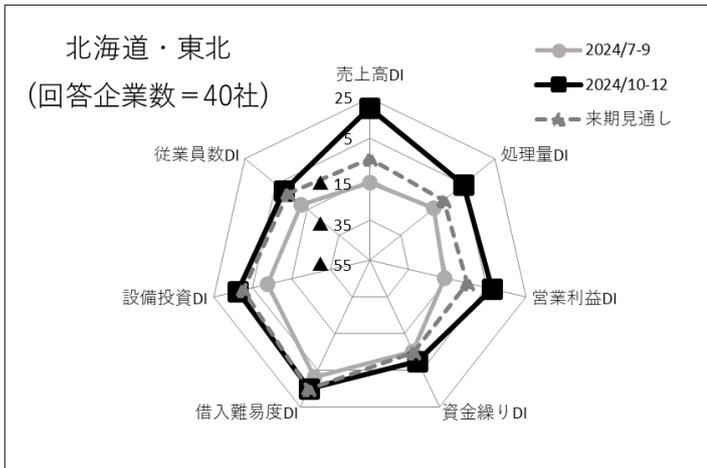
(2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)



従業員数DI (2023年10-12月期～2024年10-12月期と見通し)

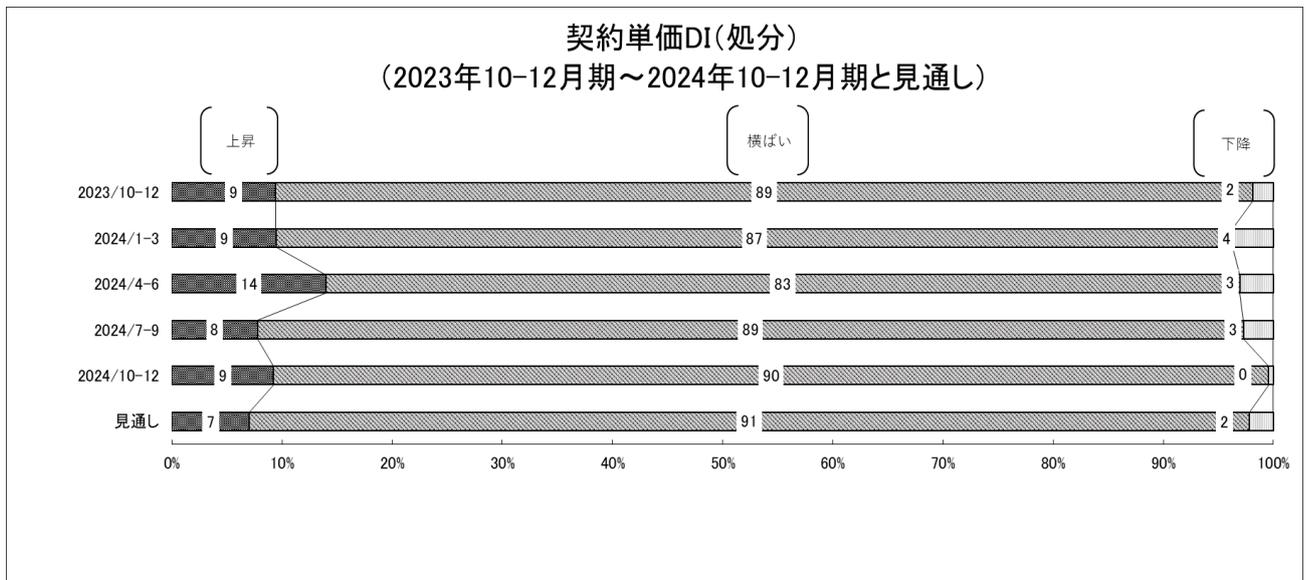
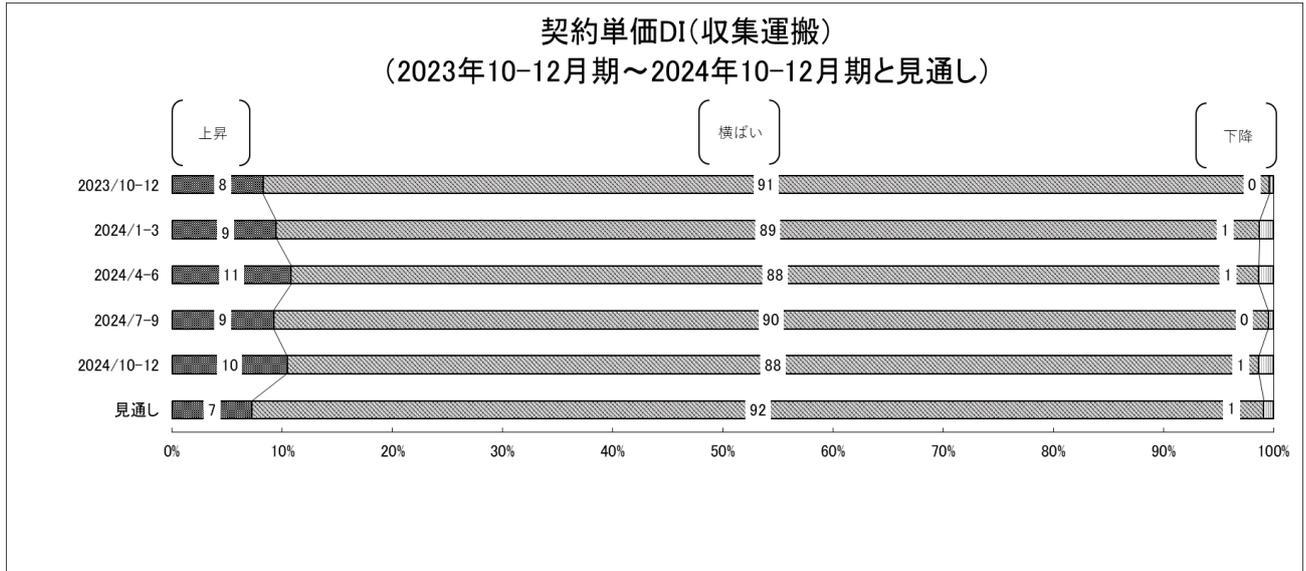


【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】



(3) 契約単価 DI

- 収集運搬の契約単価 DI は 9 となり、前期と同水準となった。
見通しは 6 となり、3 ポイント悪化する見込みとなっている。
- 処分の契約単価 DI は 9 となり、前期と比べて 4 ポイント改善した。
見通しは 5 となり、4 ポイント悪化する見込みとなっている。



2. 売上高の動向

- 前年同期比(3ヶ月平均)では、4.2%減となった。

有効回答数:125 社

単位:千円 33

前年売上高	2023年10月	2023年11月	2023年12月	平均
	6,073,651	5,968,418	6,276,474	6,106,181
今年売上高	2024年10月	2024年11月	2024年12月	平均
	6,272,645	5,526,262	5,753,404	5,850,770
前年比	3.3%	▲7.4%	▲8.3%	▲4.2%

3. 処理量の動向

- 前年同期比(3ヶ月平均)では、17.7%減となった。

有効回答数:120 社

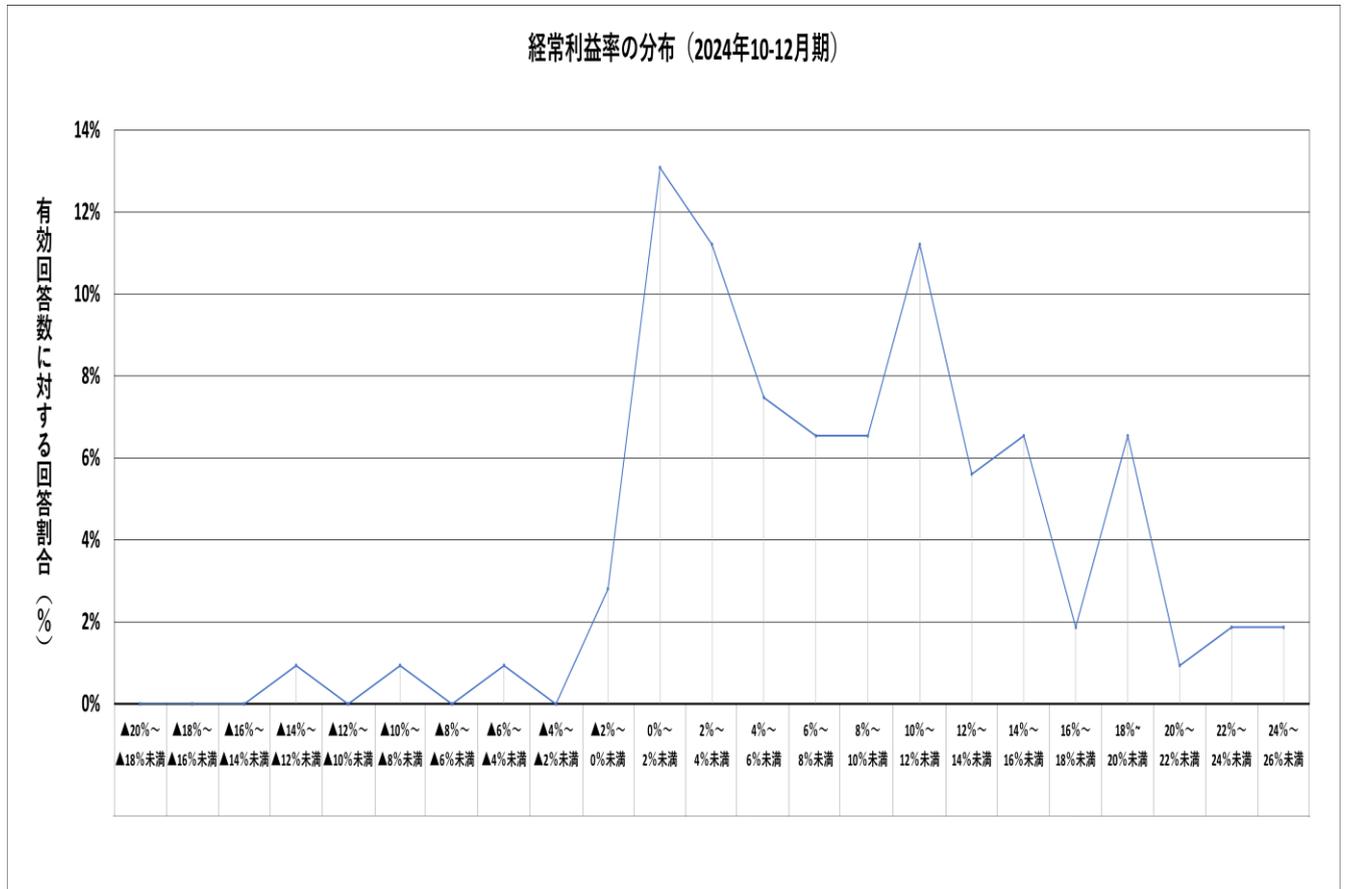
単位:トン

前年処理量	2023年10月	2023年11月	2023年12月	平均
	309,988	296,982	315,505	307,492
今年処理量	2024年10月	2024年11月	2024年12月	平均
	264,731	236,999	257,758	253,163
前年比	▲14.6%	▲20.2%	▲18.3%	▲17.7%

4. 経常利益率(経常利益の対売上高比率)

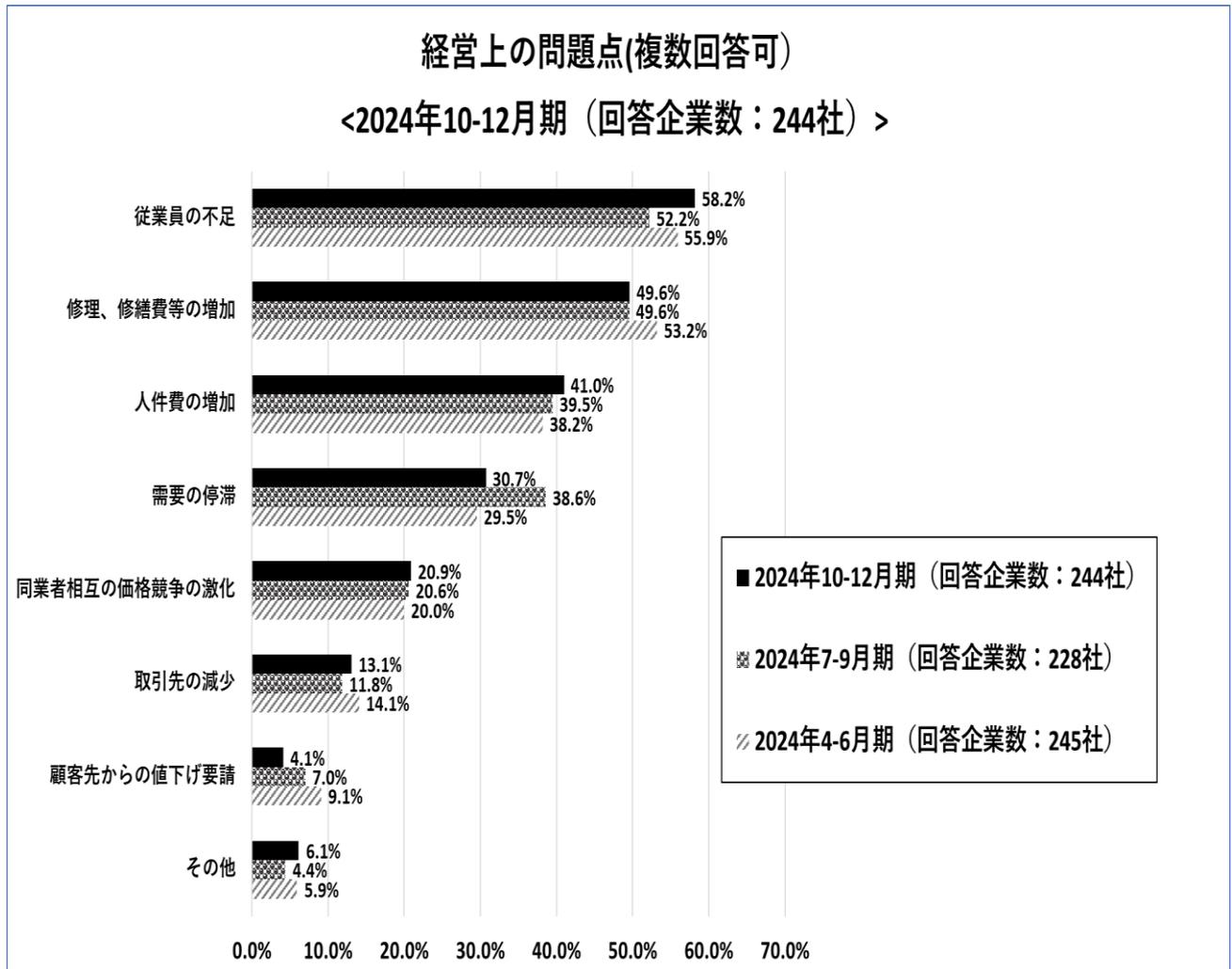
- 経常利益率の平均値は7.2%となり、前年同期比で1.8%増となった。

有効回答数:107社



5. 経営上の問題点(複数回答可)

○ 経営上の問題点として、「従業員の不足」の回答割合が最も高く、前期から6%増加した。



【その他記述回答の代表的な意見】

- ・ 光熱費、燃料費、材料費等の高騰
- ・ 人手不足
- ・ 従業員の高齢化
- ・ 人材育成
- ・ 単価値上げ交渉
- ・ 最終処分場の受入制限及び値上げ
- ・ 木くずの入荷量減少が著しい
- ・ 再生品の利用促進
- ・ 震災の影響

〔調査実施要領〕

本調査は、産業廃棄物処理業の景気動向について把握するため、全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、集計したものである。

(1) 調査対象者

全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員

(2) 調査期間

2025年1月6日～1月31日

(3) 調査方法

Webによるアンケート

(4) 回答数・回答率

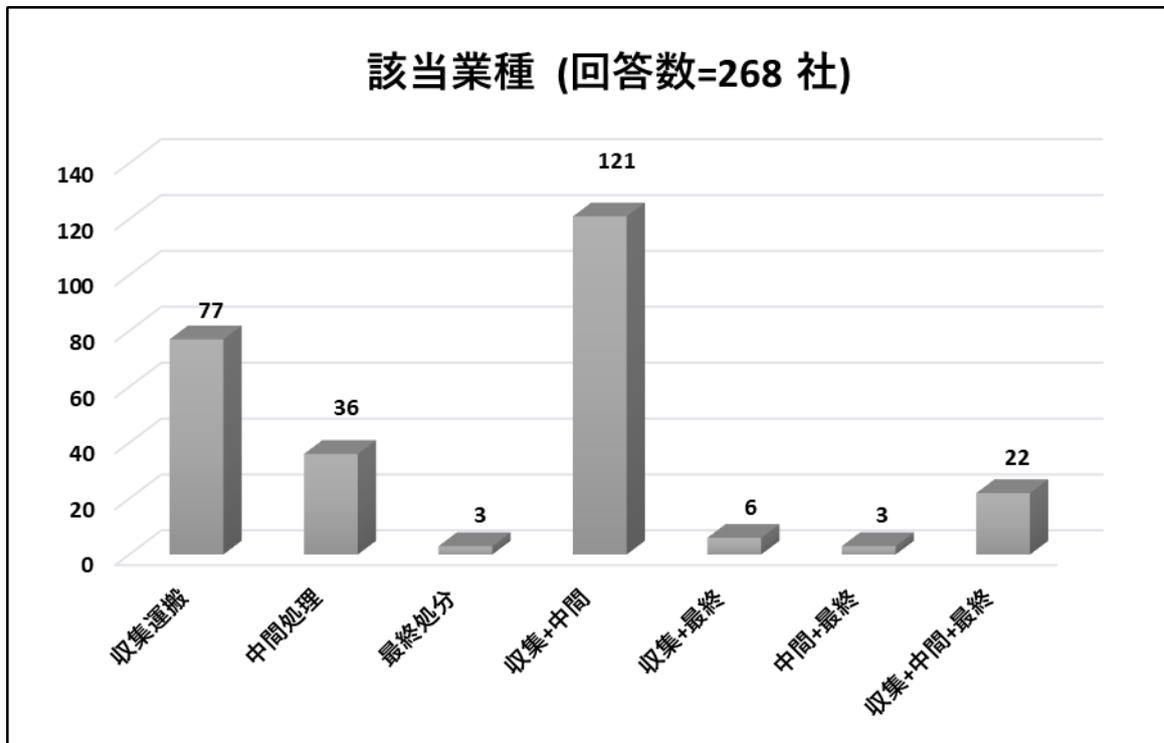
調査依頼企業数	1,251社
回答企業数	268社
回答率	21%

(5) サンプル構成

① 地域別構成

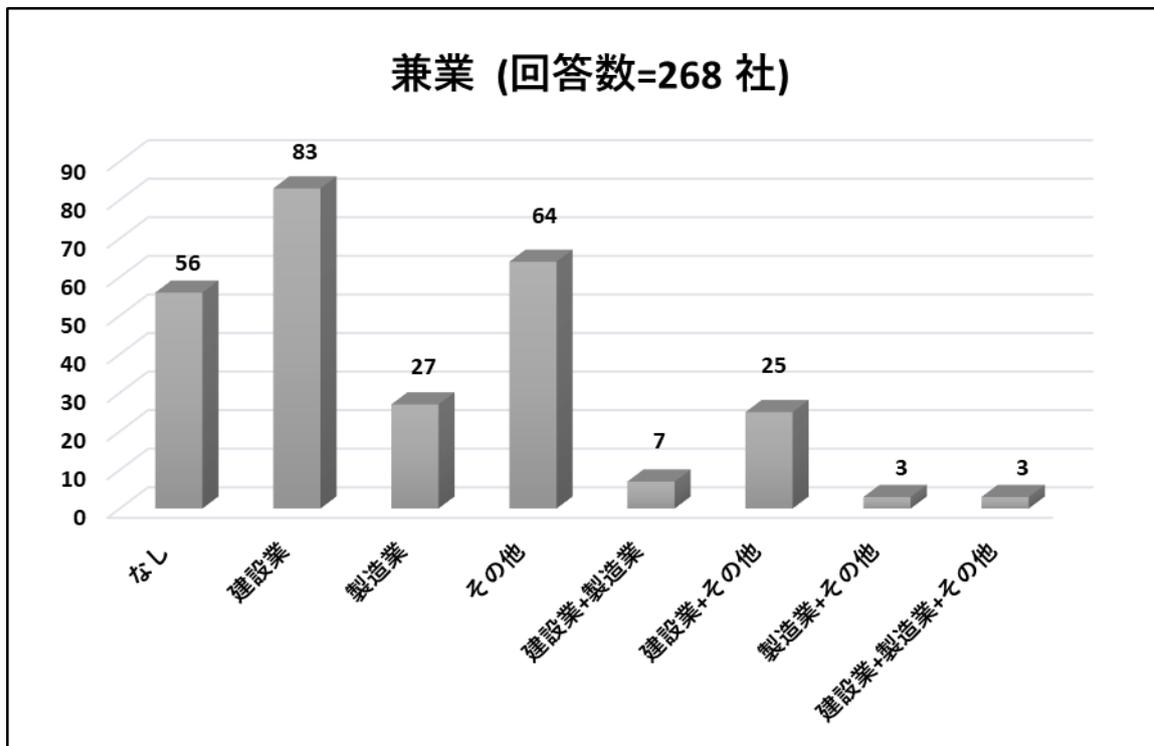
地域	企業数	構成比
北海道・東北	40	14.9%
関東	51	19.0%
信越・北陸	28	10.4%
中部	37	13.8%
近畿	23	8.6%
中国	18	6.7%
四国	33	12.3%
九州・沖縄	38	14.2%
合計	268	100.0%

② 業種別構成



該当業種	企業数	構成比
収集運搬	77	28.7%
中間処理	36	13.4%
最終処分	3	1.1%
収集+中間	121	45.1%
収集+最終	6	2.2%
中間+最終	3	1.1%
収集+中間+最終	22	8.2%
合計	268	100.0%

③ 兼業別構成



兼業	企業数	構成比
なし	56	20.9%
建設業	83	31.0%
製造業	27	10.1%
その他	64	23.9%
建設業+製造業	7	2.6%
建設業+その他	25	9.3%
製造業+その他	3	1.1%
建設業+製造業+その他	3	1.1%
合計	268	100.0%